

様式第 1 号

会 議 録

会議の名称	平成 29 年度第 4 回所沢市高齢者福祉計画推進会議
開催日時	平成 29 年 1 月 16 日(木)午後 3 時から午後 5 時 15 分まで
開催場所	所沢市役所 8 階大会議室
出席者の氏名	水野委員・米川委員・岡村委員・高野澤委員・生澤委員・河野委員・山足委員・吉本委員・薦田委員・柴井委員・根本委員・大島委員・大川委員・石原委員・瀧本委員・斎藤委員
欠席者の氏名	浜島委員、横溝委員、大島委員、篠崎委員
議 題	(1) 地域包括支援センターの運営状況について (2) 介護予防・日常生活支援総合事業について (3) 第 7 期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定について (4) 報告事項
会議資料	資 料 1 地域包括支援センターの運営状況について 資 料 2 総合事業サービスの報酬体系の変更について 資 料 3 第 7 期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 (素々案) 当日配布資料 1 高齢者福祉施設の整備目標について 当日配布資料 2 所沢市紙おむつ購入費支給事業について 当日配布資料 3 平成 30～32 年度の介護保険料設定について (概算) そ の 他 会議次第 委員名簿 座席表

担当部課名	福祉部 植村部長・北田次長 高齢者支援課（瀬能参事・新井主幹・築地主査・秋山主査・足利主査・石井主任・坂田主任・宮川主任・松下主事） 介護保険課（井上課長・田畑主査・長浜主任・佐藤主任） 健康推進部 保健医療課（前田課長、伊東副主幹） 健康づくり支援課（野上課長） 事務局 福祉部高齢者支援課
-------	--

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p style="text-align: center;">開会</p> <p>委員長よりあいさつ</p> <p>委員により会議の公開が承認され、傍聴人が入場する（3名）</p> <p><u>議題(1)地域包括支援センターの運営状況について</u></p> <p>事務局 資料1について説明を行う。 意見、質問なし</p> <p><u>議題(2)介護予防・日常生活支援総合事業について</u></p> <p>事務局 資料2について説明を行う。</p> <p>委員長 質問はあるか。</p> <p>委員 事業所の収入が減るのではないかと懸念されるが、具体的に何パーセントの事業所が事業を維持できる、もしくは収入が減るといふ予測はあるのか？</p> <p>事務局 全ての事業所についての利用状況を確認しているわけではないが、要支援2で週1回通っている方がいるデイサービスは全体の2割弱であると認識しており、その事業所については収入が減ることになる。現在事務局で検討している1回あたり単価は、国の上限額を想定しており、国が想定している費用を市が独自に削減するのは好ましくないのではと思っている。</p> <p>委員 事業所にとって収入減は大変なことであるため、きめ細やかな注意を払ってもらいたい。</p> <p>委員長 事務局案のとおりでよろしいか？</p> <p>委員一同 了承</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	議題(3)第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定について 資料3「総論」「各論1」について説明を行う。
委員長	質問等はあるか？
委員	介護保険法の改正により、自立支援に力を入れた自治体には新たな交付金が支給されることになったと思うが、どのように評価するのか、また、自治体によって差異も出てくるのではないかと思うので説明を聞きたい。
事務局	新しい交付金という形で、介護予防に取り組む自治体に対するインセンティブ付与の制度が新たな枠組みとして加わっている。現在、国でどのような指標とするかを議論している段階である。詳細について通知があり次第、情報提供させていただく予定。
委員	P49「(1) トコロん元気百歳体操」は、介護予防のストレッチ的な要素だけでなく、筋力トレーニング的な要素も含まれているため、高齢者向けのフィットネスクラブに近いものであり、大変効果的であると同時に、住民主体の取組のため安価であり、経済的にも費用対効果が望めると思う。現在の実施団体数は19団体であるが、とこしゃん体操とところん元気百歳体操の住み分けをしながら広めていき、元気な方はより元気に、また、介護認定で自立になった方の受け皿になるように推進してほしい。
委員	P39「第3節 地域包括ケアシステムの深化・推進」と、P40「第4節 地域包括支援センターの機能強化」がなぜ別々になっているのか。地域包括ケアシステムの深化・推進をするための地域包括支援センターの機能強化なのではないかと思う。
事務局	P39「第3節」、P40「第4節」地域包括ケアシステムの深化・推進について、大きな部分を占めるのは地域包括支援センターであることは間違いないが、併せて認知症施策や医療・介護の連携等に対する取組を更に向上させていくことを含め、地域包括支援センターの機能強化、相談機能の強化を重要視して取り上げている。

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>P 40「第4節」に、「地域ケア会議をはじめ、地域の様々な立場にいる関係者間」とあるが、「地域ケア会議をはじめ」という言葉は必要なのか？この先は各地域で様々な協議の場、話し合いの場が増えてくのではと思っており、必ずしも「地域ケア会議」ではないのではと思う。</p>
事務局	<p>各論部分の記載方法については検討したいと思う。</p>
委員	<p>P 44「基本施策の体系」が、P 45「第1章」、P 58「第2章」に分けてあるが、項目の重なりがあるのではと感じている。今までは「介護予防」「生活支援」「社会参加」を別のカテゴリーで取組を進めてきたが、第7期計画からは総合事業の関係もあり、この3つが重なり合う部分が大きくなると思うので、そのあたりの表記を図の追加等につながりを示せるとより分かりやすいと思う。</p>
委員	<p>トコロん元気百歳体操を広めていきたいと思うが、DVDはどこで販売しているのか？</p>
事務局	<p>とこしゃん体操はDVDを販売しているが、トコロん元気百歳体操については販売をしていない。ただ、市民からの問い合わせもあるので、発売するかは未定であるが紹介用DVDの作成は検討したいと考えている。</p>
事務局	<p>資料3「各論2」「各論3」及び当日配布資料1について説明を行う。</p>
委員長	<p>質問はあるか？</p>
委員	<p>第2層協議体の関係もあるので、今後の職員体制について聞きたい。</p>
事務局	<p>地域包括支援センターの人員体制について、今後、第2層生活支援コーディネーターが活動を開始するにあたって、地域包括支</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>援センターから提案のあった人数よりも多く配置できるよう契約する形で準備を進めている。</p> <p>資料3、P112「第3節 地域ケア個別会議」について、今後も6ブロックに分けて開催するのか？</p> <p>また、「第7期の展開」で、「事例の検討件数を増加していくとともに」とあるが、現在の評価はどのようにしているのか？これからどのように検討するのか？</p>
事務局	<p>各ブロックに在宅支援診療所等の在宅医療に強い医師が配置できるようブロック分けを行っている。平成30年度以降、介護保険サービス事業者連絡協議会からの意見を踏まえ、事例を提供するケアマネジャーが提供して良かったと思えるような個別支援の検討が行えるよう会議の充実を図っていきたいと考えている。</p>
委員	<p>当日配布資料1について、小規模多機能型居宅介護について、今後の整備の考えを聞きたい。</p>
事務局	<p>第6期計画において、認知症対応型共同生活介護のグループホームと小規模多機能型居宅介護の組み合わせの施設を整備している実績がある。今後、多種多様なサービスの提供を踏まえ、平成31年度より認知症対応型共同生活介護施設の整備にあわせ、小規模多機能型居宅介護の整備を検討したいと思う。</p>
委員長	<p>看護小規模多機能型居宅介護は、末期がん、重度の心身障害児者、人工呼吸器を付けている方等、介護よりも医療的な看護が必要な方が利用するために全国的に必要な施設である。看護小規模多機能型居宅介護を行うには訪問看護ステーションの併設が必要であるが、所沢市では、市街化調整区域に小規模多機能型居宅介護施設は建てられるが、訪問看護ステーションは建てられないため、現状では必要になっても設置できない状況である。</p>
委員	<p>地域の通いの場の充実とあるが、共生社会の推進という観点からも高齢者だけでなく、一般の方や障害者、子ども等、どんな方でも参加できるような地域の支え合いの場を作ってもらいたいと</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>思う。</p> <p>通いの場については、社会福祉協議会で行っている子ども食堂等、特に高齢者が担い手として活躍する場を参考にしながら地域全体が元気になるような取組を引き続き検討したいと思う。</p>
委員	<p>P 119 「（２）新たに開発する多様なサービス」について、新たにサービスを導入する際には、地域に出向いて住民の困り事等を把握している協議体、生活支援コーディネーターの意見を聞いてもらいたい。</p> <p>P 109 「第２節 協議体」の「第７期の展開」について、協議体間での優良な取組とあるが、「優良な」ではなく「先進的な」等の表現のほうが良いのではと思う。</p>
事務局	<p>P 119 「新たに開発する多様なサービス」について、総合事業において多様なサービスが国から示されているが、生活支援コーディネーター、第１層、第２層協議体の意見を十分に反映する形で、新たに必要なサービスについて導入に向けた検討を行いたい。</p> <p>P 109 「優良な」の表現については検討を行う。</p>
委員	<p>長生クラブには約 5,000 名の会員がいるが、会員に認知症の方はおらず、認知症になりつつある方は退会してしまうため、認知症についての話題は出ない。実際には初期の認知症や、認知症予備軍の方は多くいると思うが、一般的に認知症の方を抱えている家族はあまり表面に出したがるらないため、自治体でも十分にそのことを認識して対応する必要があると思う。群馬県では各自治体に認知症カフェの設置を呼び掛けており、所沢市でも認知症カフェを推進するとあるので、所沢市の実態を聞きたい。</p>
事務局	<p>認知症カフェは平成 28 年度より設置し、現在 13 か所に開設している。P 80 「第２節 認知症への理解を深める取組」の「目標」にあるように、平成 32 年度までに 28 か所の開設を目標としている。</p> <p>認知症カフェは家族や地域の方も参加できる。デイサービスに</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>一人で行くのにためらう場合があるが、家族と一緒にお茶を飲む場を作ることによって認知症の方を抱える家族が閉じこもりがちにならないよう、また、認知症ケアの専門職に相談ができる体制が整っているため、その方に適したケアにつなげられる場、認知症について考えられる場、認知症の方も気軽に行ける場を目指し、みんなのカフェの取組を進めている。</p> <p>認知症カフェは、月に1回、時間と曜日を決めて開催しており、市の広報やパンフレットで案内しているが、周知が難しい。予防的な要素が強く、介護を必要とする状態になることに不安を持っている方や、一人暮らしで認知症になることに不安を持つ方など、この先の不安について話をしたりしている。長生クラブに来なくなってしまった方等にも声を掛けてもらえれば、自宅まで送迎している認知症カフェもあるので声を掛けていただきたいと思う。課題としては、認知症状の重い方が来た時に落ち着かなくなってしまう場合もあるため、そのような方の受け皿をどうするか悩んでいる。</p>
事務局	資料3「各論4」及び当日配布資料3について説明を行う。
委員長	質問はあるか？
委員	当日配布資料3、P2、地域支援事業費について、平成30年度から平成32年度にかけての費用はこれで足りるのか？
事務局	標準給付費見込額にも同じ事が言えるが、直近の実績を踏まえて設定しており、設定額を大幅に上回って財政が破綻することはないと考えている。余裕を見て金額を設定したいところではあるが、そのためには多めに保険料を確保しなくてはならなくなり、市民の負担につながってしまうため、シビアに考えなければならないと思っている。
委員	当日配布資料3、P1、収入により介護保険料の本人負担割合が3割になるが、この表で見るとどこの段階の方から3割負担になるのか？おそらく収入が300万円を超える方あたりからだと思

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>うが、このあたりの方は医療保険も介護保険も3割負担になるので、介護保険の額そのものは大きくはないが、何か考慮する部分はないのか？</p> <p>介護保険料が3割負担になる方の基準は、合計所得金額が220万円以上の方になり、第8段階の上位層の方から該当になる。上がり続ける介護保険料の中で、負担能力のある方にはもう少し負担をとということで見直しをしているが、第8段階については上げ幅をできるだけ上げないよう、国の保険料率が1.5を標準として示していることを踏まえ、所沢市も1.5としている。今まで2割負担だった方が3割負担となった場合の利用負担について、高額介護サービス費では1か月の負担上限額を超えた場合は超過分が払い戻される制度があるので、必要なサービスを利用してもらえればと思っている。</p>
委員	<p>ぜひ、高額介護サービス費についての周知をしてもらいたい。当日配布資料3、P1の表では全体が見えないので、公開できるのであれば段階ごとの収入・人数がわかれば意見が述べやすい。</p>
事務局	<p>収入について、高齢者の多くは年金収入になるが、中には給与所得や不動産収入のある方もおり、控除の関係で一概に収入額を示すのが難しいため、このような表記になっている。各段階の人数については、平成30年度の見込みで、第1段階13,722人、第2段階5,200人、第3段階5,207人、第4段階14,802人、第5段階11,526人、第6段階10,907人、第7段階13,533人、第8段階7,750人、第9段階3,466人、第10段階2,477人、第11段階824人、第12段階444人、第13段階1,309人となる。</p>
委員	<p>国より示されていることなので難しいとは思いますが、第8段階を中心とした方に負担感が多いと感じている方が多くいると思うので、誰もが利用しやすい制度にしてもらいたい。</p>
事務局	<p>当日配布資料2について説明を行う。</p>
委員長	<p>質問はあるか？</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>利用する市民からすれば保険料の支出は少なく、必要な方には援助が多いほうが良いと誰もが思っている。給付を増やせば負担が増える等の財政の問題、国の方向性等もあり、所沢市だけでは考えられない部分もあると思うが、紙おむつについては、実際に要支援1、2、要介護1の軽度者のウエイトは少ないと思うので、見直し案の通りであまり影響はないと思う。</p>
委員	<p>軽度者というだけで紙おむつ支給の対象外としている市町村もある中で、要支援の方でも支給要件を満たせば利用できるため、見直し案は良いと思う。</p>
委員	<p>要支援1、2、要介護1の方で、自宅のトイレが和式のため利用しにくいという方もいると思うので、そのような事も考えて紙おむつが必要か必要でないかを判断してもらいたい。</p>
委員	<p>平成28年度の支給額は136,561,875円だが、見直し案ではどのくらいになると考えているのか。</p>
事務局	<p>段階的に制度を開始していく予定なので、平成30年度は新規申請もあるため前年度と同水準になり、平成31年度については前年度の93%、平成32年度は前年度の83%と段階的に対象者が減ると想定している。</p>
事務局	<p>1月頃にパブリックコメントを実施するが、本日の意見を反映した形でパブリックコメント版の計画素案を作成するため、今月中に意見をもらえればと思う。また、意見を反映したパブリックコメント版の計画素案の確認については、水野委員長に一任でよろしいか？</p>
委員長	<p>委員長一任でよろしいか？</p>
委員一同	<p>了承</p>
<p>議題（4）報告事項</p>	

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>特になし</p> <p><u>その他</u></p> <p>介護保険料の設定についての算出は、介護報酬の改定もあるため現段階の暫定的試算であり、確定の数値ではないことを再度認識してもらいたい。</p> <p>本日の議事については、すべて了承される。 閉会にあたり、副委員長より挨拶がある。</p> <p style="text-align: center;">閉会</p>
<p>《確認欄》</p> <p>平成29年度第4回所沢市高齢者福祉計画推進会議の会議録として承認します。</p> <p style="text-align: center;">委員長 水野 康司</p>	